

## 2023 年度 第 1 回拡大職員会議「学童保育所の生活のなかでの安全」レポート

【クラブ】（ 風の子クラブ ）

【名 前】（ 川原郁美 ）

心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

いつどんな状況で、子どもが怪我をしたり、病気になったりするかわかりません。放課後の子どもたちの安全な生活、命を預かる身として、安全にかかわる研修を受けること、危険を予測できるようになること、事が起きた場合の対応マニュアルを作成すること、日ごろから子どもたちにも、危険を予測する能力や緊急の場合の対処の方法などを伝えることは重要だとあらためて感じました。学校に「いってきます！」と出かけて行った姿のまま、お迎えに来た保護者に引き渡せるようにすることが原則であって、『子どもだから多少怪我はするものだよ』という意識をもつことは危険だということもあわせて確認することができました。

後半のグループワークでは、普段かかわることのない他クラブの指導員さんたちと話をするのができて、楽しく意味のある時間でした。危険予知トレーニングでは、たくさんの危険箇所を挙げることができました。また、危険予知トレーニングから付随して、自分のクラブではこうしているけど、他のクラブではどうしているのかや、クラブごとの生活の中での悩みなどを話すこともできました。

大人が子どもの安全を守ることはもちろん必要ですが、特に風の子は、公園に行く頻度が多く、歩道をゾロゾロと列になって歩いていくので、子どもたちも自分で考えて判断できるようになっていく必要もあると思います。日々の生活の中で、子どもたちと一緒に安全な放課後生活について考えてみたいなと思います。

※提出されたレポートは、当会のホームページや広報誌に掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※×切は、12月3日（日）です。常勤専任指導員に手渡し、または、okazkaigakudou@yahoo.co.jp までお送りください。